

全国消防本部に向けたアンケート調査項目

この度は救急隊員のパフォーマンス向上に関するアンケート（2次調査）についてご参加ありがとうございます。このアンケートは2年半前のアンケート結果から抽出した重要なポイントを2年半の月日の間にどのように変化したのかを調査する目的で日本臨床救急医学会が実施するものであります。

Q1) ご所属の消防本部コードをお答えください。

Q2) ご所属の消防本部の職員（2025年4月1日時点）の内訳をお答えください。

全国消防長会の定義に従って回答ください。

職員数	うち、消防吏員数		人
	うち、女性消防吏員数		人
	うち、救急隊員数		人
	うち、救急救命士有資格者数		人
	うち、女性救急隊員数		人
	うち、再任用救急隊員数(暫定再任用を含む)		人

Q3) 救急隊員の身体的負担や心理的負担を軽減するための施策を行っていますか。あてはまるものをお選びください。(いくつでも○)

1. 救急隊編成人数の拡大 | 例: 救急隊 1 隊あたりの編成人数を増員し、救急隊乗務回数や業務の分担を図る
2. 短期間(月・週)でのジョブローテーション | 例: 月・週単位で違うステーションへ異動・変更させる
3. 日勤救急隊(デイトائم救急隊)などの導入
4. 1 当務内活動上限の設定 | 1 当務内の活動基準を設け、基準に達した救急隊員を交代させる
5. 食事時間の確保 | 例: 食事購入場所の緩和
6. 休憩時間の確保 | 例: 他の隊員との乗換運用
7. 睡眠時間の確保 | 例: 睡眠時間を確保する取組
8. 救急隊員の身体的負担や心理的負担を考慮した取組は特に行っていない
9. 救急隊員に対するハラスメント対策とその周知や広報
10. その他(具体的に:)

Q4) 救急要請需要の増加に対して消防をはじめ地域で導入または取り組んでいる施策についてお教えてください。(いくつでも○)

1. 救急相談ダイヤル(＃7119 や＃8000 等)の導入および運用
2. 通信指令センターにおけるコールトリアージ
3. 転院搬送ガイドラインの策定
4. 地域病院へ転院搬送での救急要請に対する理解を求める説明会(対面)の実施
5. 地域病院へ転院搬送での救急要請に対する理解を求める説明(文章や医師会等を通じた周知・依頼)の実施
6. 地域介護施設等への救急要請に対する理解を求める説明会(対面)の実施
7. 地域介護施設等への救急要請に対する理解を求める説明(文章や医師会を通じた周知・依頼)の実施
8. 市民に対する適切な救急要請を呼びかける広報活動等
9. 市民に対する適切な救急要請を実施してもらうための講習会等
10. MC 協議会における対策会議等
11. 地域医療機関の病院救急車との連携
12. 患者等搬送事業者認定表示制度の策定および活用
13. 患者等搬送事業者以外の民間救急との連携
14. 不搬送基準の策定および活用
15. 頻回要請者に対する他機関との連携体制の構築
16. 加算について(選定療養費)病院と消防との相談があるか
17. その他(具体的に:)

Q5) ライフイベントや日勤業務などにより、長期間救急隊活動に従事していなかった者が救急隊に復帰する際に、プロトコルの再確認や救急救命処置の手技確認など現場復帰に伴う不安を解消するため、消防本部がサポートするプログラムを導入していますか。

1. 対象者全員導入している
2. 希望する対象者に導入している
3. 導入の検討中
4. 導入の予定はない

Q6) 貴消防本部は以下の資器材の導入を希望していますか。(1つだけ○)

資器材の導入の希望は						
	1	2	3	4	5	99
	全く希望しない	あまり希望しない	どちらともいえない	やや希望する	強く希望する	すでに導入されている
1. 自動式心マッサージ機 (LUCAS)	1	2	3	4	5	6
2. 自動式心マッサージ機 (オートパルス)	1	2	3	4	5	6
3. 自動式心マッサージ機 (Clover3000)	1	2	3	4	5	6
4. 自動式心マッサージ機 (Corpuls CPR)	1	2	3	4	5	6
5. 電動ストレッチャー (Stryker)	1	2	3	4	5	6
6. 電動ストレッチャー (FERNO)	1	2	3	4	5	6

その他希望する資器材 (自由記載)

アンケートは以上です。みなさまのご協力ありがとうございました。